

令和7年度山形大学入学者選抜試験【解答例】	
後期日程	小論文
工学部昼間コース	高分子・有機材料工学科 化学・バイオ工学科 情報・エレクトロニクス学科 機械・システム工学科 建築・デザイン学科 システム創成工学科
工学部フレックスコース	

解答例

問一

著者は、実社会には唯一の正解があるような問題は少なく、実社会で生きていくには自ら問題を発見し、自ら問題を解決する創造性を培うことが必要であり、このためには人文科学から自然科学までの幅広い分野の学びによる社会性、新しいルールを創造するための能力(4つのC)を含む教養が必要であると述べている。(145字)

問二

私は高分子・有機材料工学科を志望している。高分子材料の一部がマイクロプラスチックとして環境に流出しており、私はその課題解決のための研究を行いたいと考えている。このためには、もちろん専門的な知識の習得や、世界におけるこれまでの科学論文を読み解くための理解力・英語力も必要である。さらに、合成や分析などの技術を身につける必要がある。新しい取り組みはすぐに実を結ぶことはないかと思うが、よく計画を練って粘り強く検討を繰り返して体系的な知識を得たいと考えている。また、立場の異なる人とコミュニケーションをとるなどして4つのCを獲得し、広い世界を知ることで教養を身につけ創造性を磨きたい。(289字)